

やすらぎ

特養住民
佐々木アキノ 筆

第20号

発行 平成15年6月25日
編集 社会福祉法人やすらぎ会
広報委員会



「え！すご～い これ本当におじいさん おばあさんが作ったの？」

大好きなカエルの張り絵をプレゼントされ喜ぶ子どもたち せんだん保育所との交流P7掲載

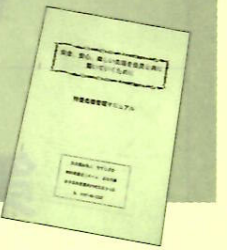
- ◆特別養護老人ホームぶなの園 ◆デイサービスセンターぶなの園
- ◆沢内村在宅介護支援センター ◆ホームヘルプステーションぶなの園
- ◆西和賀介護相談室

沢内村大字太田第2地割135番地 ☎0197-85-2322

◆沢内村高齢者生活福祉センターかたくりの園

沢内村大字大野第17地割140番地1 ☎0197-85-3388

より良い生活の援助を願って ～ついに完成 危機管理マニュアル～



危機管理のマニュアル（手引書）については、前々号の会報「やすらぎ」でも作成中であることを報告しました。今回は完成しての報告です。

完成に一年半の時間がかかりました。時間がかかった理由は幾つかありましたが、一番の理由は事故等の記録を、平成十年四月の事業開始の時から業務日誌に基づきまとめるのに時間が必要だったことです。

マニュアルは四項にまとめました。一つ目は直接又は間接的に介護させていただいている時の事故、二つ目は段差、緩い坂等の設備上の問題による事故、三つ目は職員の危機管理、最後が住民に対しケガ等の事故を起こしてしまった場合の住民やご家族への対応についてです。完成した内容を簡単に紹介します。

一つ目に関しては短期入所のご利用者が生活に慣れるに時間がかかり、職員もその方への統一した介護方針が不明確であったことです。更に痴呆の方で生活行動範囲が広い方に事故が多



楽に仏様さ行けるようになったな
(設置されたスロープを足もとにして)

いことも、時間・内容も含め、明確になりました。

二つ目は建物全体を点検した結果、数ミリの段差でも住民の歩行や車イスの自力歩行に障害となっていること。入浴の脱衣所が狭いこと等、すぐ修繕のできる所、沢内村と協議が必要で

すぐには改善できない箇所等が明確になりました。
三つ目の職員の危機管理とは⑦業務により良い体調で望むための健康管理 ⑧事故、健康管理のための職場環境の改善・充実 ⑨運営方針の理解とそれに基づく諸業務の具体化 ⑩人事労務管理の適正化などです。

四つ目の住民の事故については、本人の苦痛、ご家族の心配への配慮（事故にいたる説明）入院した場合等の経費の支払い等を明記しました。
マニュアルはあくまでも手引書・基本です。しかしこの基本の内容を特別養護老人ホームの全職員が理解し、生活の援助をさせていただく。その基本を土台に応用（職員の目配り、気配り）が必要であり、最も大切なことです。
集団での生活だから多少の事故はやむを得ない等の気持ちは職員にあつてはなりません。
このマニュアルは年を重ね、更に内容を充実させていくことが大切です。そして、このことが住民のより良い生活の援助に繋がると願いつつ。

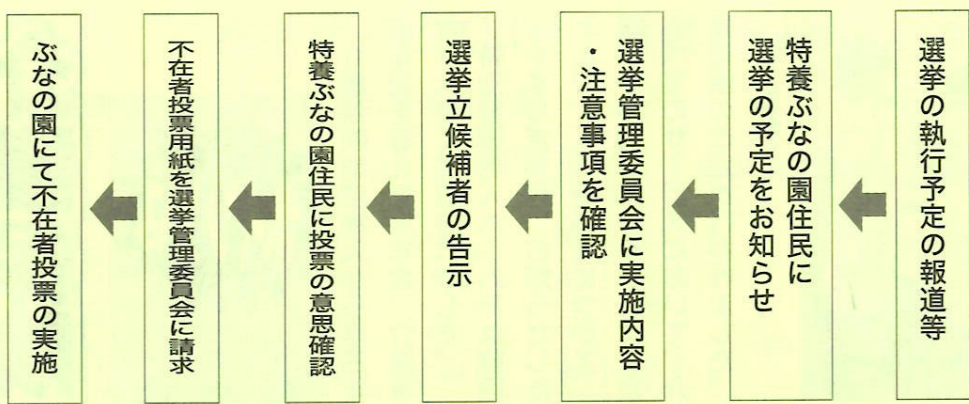


施設長 上野 米子

投票

沢内村の一村民として

ぶなの園 不在者投票の流れ



今年統一地方選挙の年。岩手県議会と沢内村議会の選挙がありました。

ご家族や候補者の方から施設での選挙がどのように行われているかの質問がありました。

そこで今回は、特別養護老人ホームでの選挙について説明させていただきます。

施設での選挙は病院等と全く同様です。選挙日の係員を施設長を責任者に、施設の職員が代わって行うところが一般の不在者投票と異なるだけです。

老人ホームでの投票で重要なことは、本人の投票の意思確認です。選挙が近づくと、ご家族

などが「うちのおばあさんに投票してもらいたいが」と相談がありますが、そのような方にだけでなく、全ての特養住民への投票の意思確認を行っています。その際、痴呆症状のある方にはわかり易い内容で、耳が不自由

な方には耳元で説明させていただくなどしています。そして希望者の名簿を作り、村の選挙管理委員会にて一連の用紙をいただきます。

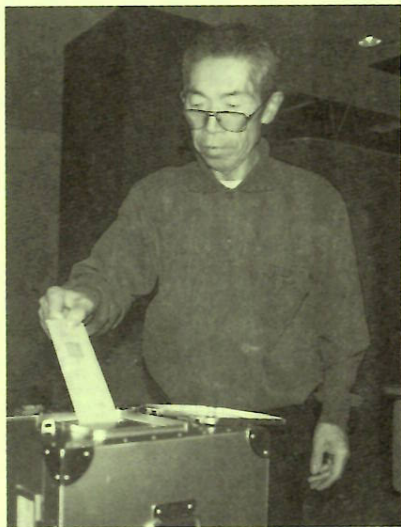
不在者投票の実施日は施設で決めます。

そして、投票の立会人や代筆などは、投票内容の秘密保持の点から、特養住民の生活や秘密を守る義務のある職員が、不在者投票の責任者である施設長からの指名で行っています。

「投票する責任を果たさないとイケないよ」と積極的な住民が目立ちますが、何人かは「周りから投票をお願いされることなく安心して投票できると話される方もありました。」

このような住民の思いを大切に、特養住民が地域の一住民として国民として大切な一票が投じられますよう、又不正のないように住民の意思を尊重しながら今後とも実施していきたいと思えます。

相談員 前島 正人



投票となればやはり緊張します

新しい住民 ご紹介

平成十五年三月、
十五年五月



北上市 阿部利嗣さん (71歳)



前郷 高橋マツエさん (97歳)

※最近の写真がないため
お若い頃の写真です。

〔4月入居〕
〔3月入居〕
（年齢は五月末現在）
よろしくお願いたします

在宅サービス料金一覧表 (平成15年4月1日改定)

短期入所施設ぶなの園 (短期入所生活介護)

要介護度	基本額	リハビリ加算	合計	利用者負担(一割)
要支援	7,970	120	8,090	809
要介護1	8,410	120	8,530	853
要介護2	9,120	120	9,240	924
要介護3	9,820	120	9,940	994
要介護4	10,530	120	10,650	1,065
要介護5	11,230	120	11,350	1,135

食料費	780
-----	-----

 +

一日利用料	1,589
	1,633
	1,704
	1,774
	1,845
	1,915

 =



デイサービスセンターぶなの園 (痴呆専用型通所介護)

要介護度	基本額	入浴費	送迎費	食事加算	合計	利用者負担(一割)
要支援	5,330	440	片道470 往復940	390	7,100	710
要介護1.2	6,300				8,070	807
要介護3.4.5	8,800				10,570	1,057

食料費	350
-----	-----

 +

通所一回利用料	1,060
	1,157
	1,407

 =

デイサービスセンターかたくりの園 (通所介護)

要介護度	基本額	入浴費	送迎費	食事加算	合計		利用者負担(一割)
					一般浴	特別浴	
要支援	4,080	440	片道470 往復940	390	一般浴	5,850	585
					特別浴	6,060	606
要介護1.2	5,060	650	片道470 往復940	390	一般浴	6,830	683
					特別浴	7,040	704
要介護3.4.5	7,180	650	片道470 往復940	390	一般浴	8,950	895
					特別浴	9,160	916

食料費	350
-----	-----

 +

通所一回利用料	935
	956
	1,033
	1,054
	1,245
	1,266

 =

訪問介護 (ホームヘルプサービス)

区分	時間 (午前8時~午後6時)	基本額	特別地域加算	合計	自己負担額
身体介護が中心である訪問介護	(1) 所要時間30分未満	2,310	350	2,660	266
	(2) 所要時間30分以上1時間未満	4,020	600	4,620	462
	(3) 所要時間1時間以上1時間未満	5,840	880	6,720	672
	(4) 以降30分増すごとに	830	120	950	95
生活援助が中心である訪問介護	(1) 所要時間30分以上1時間未満	2,080	310	2,390	239
	(2) 所要時間1時間以上1時間半未満	2,910	440	3,350	335
	(3) 以降30分増すごとに	830	120	950	95

※施設サービス、及び介護保険以外の在宅サービス、沢内村単独サービスについては掲載していません。

介護保険改定



- ・在宅重視
- ・自立支援
- ・財源の適正化、効率化

ヘルパーはどこが変わったの？

介護保険制度導入から早三年、四年目を迎えた今年度、介護保険が大きく見直されました。特別養護老人ホームでは前回(やすらぎ19号)お知らせしたとおり、入所待機者について、順番を検討していくこと。またすべてのサービスにおいて、介護報酬の改定が行われました。(P5掲載)



訪問介護は、ご利用者が自宅において、その有する能力に依り、可能な限り自立した日常生活を営むことができるように支援することを目的としておりますが、平成十五年四月より少し内容が変わりましたのでお知らせ致します。

①外出に伴うヘルパー車への乗車について。
介護保険利用者
通院時の乗車は対応致しますが、通院時の買い物や用足しは、原則的に対応できなくなりました。

軽度生活支援利用者
ヘルパー車での通院の援助や外出の援助はできなくなりました。どうかご了承くださいませようお願いします。

②介護区分が変わります。

みなさんにはどのような影響があるの？

従来は身体介護・家事援助・複合型の三区分から、身体介護・生活援助(家事援助の名称変更)の二区分となりました。

③利用料金が変わります。
利用料金については次ページにて紹介させていただきます。

訪問介護員 高橋 紅子

十五年度から介護報酬が改定となり全体では2、3%の減額となりました。在宅は0、1%のアップ、施設は4%の減額となっております。今回の改定のポイントには①在宅重視②自立支援③財源の適正化、効率化がポイントでした。

訪問介護では、身体介護の中で九十分を超える長時間の滞在型介護が大幅に減額となりました。利用者にとっては利用しやすくなり、サービス事業所にとっては厳しいところです。

生活支援は一時間未満、153単位から208単位と高くなっており、利用者から前より高くなったという声が聞かれるようになってきました。

通所介護は一般的に減額され利用しやすくなっていますが、



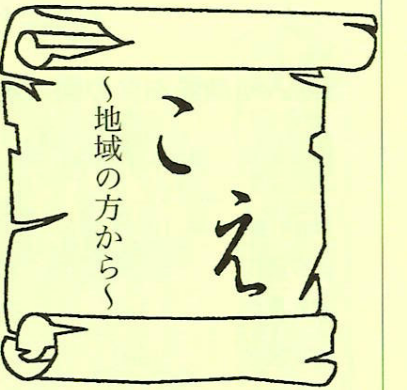
痴呆専門は減額がなく、送迎加算等が少し増額したため、全体で若干高くなっています。

短期入所生活介護も減額となり、介護度の低い方が利用すると、事業所への支払いとなる報酬が下がるようになりました。

利用金額が減額になった事業所、高くなった事業所と様々ですが、多くの利用者は高くなったと訴えながらもサービスを利用したいと考えております。利用者にとって必要なサービスは少々の変動(介護報酬の一部減額)では変わらないように思います。

利用者の思いを大切にサービス事業所も常にサービスの質の向上を念頭に、利用者のご希望に応えられるよう、お手伝いさせていただきます。今回の改定で改めて感じました。

介護支援専門員 佐々木愛子



地域の方から

毎週火曜日、ぶなの園でボランティアをしていただいている『どれみの会』の高橋クサ子さんに、今回「こえ」を寄せていただきました。洗濯物たたみやおやつのお手伝いなどをしていただいております。笑顔のたえないグループで、住民はもちろんのこと、職員も毎回楽しみにしています。

『どれみの会』は昨年十一月初ころから活動を始めた、まだ新しい会です。丸志田地区で定年で仕事を辞めた女性の人たちに何かボランティアをやってみなしかと声をかけたところ、「やってみたい」という反応が多くあり、この会の結成となりました。構成メンバーは八人、『どれみの会』という名前は「ド・



「まだ来てけど、ありがとう」

レ・ミ・フア・ソ・ラ・シ・ド」と数えていくとちょうど八つの音になるので、その名前にしました。

ぶなの園には週一回二人ずつ、できるだけ全員が月一回は訪問できるようにしています。以前私は民生委員としてぶなの園にボランティアに行っていました。が、帰るころになると、「今度いつ来るの」「また来てけろな」とお年寄りの皆さんが声をかけてくれました。その言葉や表情が忘れられず、『どれみの会』でもこうしてぶなの園にボランティア訪問することになりました。

皆さんが心待ちにしてくれて

いると思うと、とてもやりがいがあり、行くたびにお年寄りの皆さんにパワーをもらっているように感じます。メンバーの皆とは、できる限りこの訪問活動を続けて行こうと話をしている

保育園におじいさん・おばあさんが

やって来たよ!

ぶなの園住民と園児の交流から

「明日はぶなの園のおじいさんやおばあさんが来るよ」と担任の言葉に子どもたちは大喜び。三月に猫柳を持つての訪問の印象があつたからだろう。

翌朝「おじいさん、おばあさんが来たよ」の声に合わせてぶなの園の住民九名をテラスで出迎えた。「おはよう」「こんにちは」「かわいいな」「皆かわいい！」などそれぞれ挨拶を交した。ある住民の方が「ここはどこだべ?」というので「せんだん保育所だよ、小さい子どもがいっぱいいるところ」と答えると「小さいわらしゃだいつぱいいる?」とニコニコ。

都合の良い時に気軽に参加してもらえれば十分なので、今後は幅を広げ、ボランティアに興味のある人にはどんどん参加していただきたいと考えています。

「今日は雨のため外で一緒に遊べないので保育所の様子を教えましょう」と言うと「林には木があつて、虫がいて、椎茸もあるよ。ブランコ、トンネル、山、砂場もあるよ」等々。特に三〜四歳児が余すことなく詳しく紹介していたので驚きだった。自己紹介の時には、はずかしがりやの三歳児も大きな声ではっきり言えた。紹介の言葉にも勢いがついていった。一〜二歳児は、返事も手を挙げるのも調子が良かった。「次は僕、私の番だ!」と言わんばかりに張り切っていた。新年度が始まったばかりだったが子どもたちがき

先人の良き智恵を孫たちへ...

貝沢地区老人クラブの活動



貝沢 及川 久蔵さん

貝沢老人クラブ(会員五十名)の活動について簡潔にのべてみます。私達クラブの活動のねらいは五つありますが、そのうちのひとつとして、「高齢者だけの活動にせず、世代交流を活性化する。」があります。

先人の良き体験と智恵を孫達に伝へたいとの願いからです。体験事例として、川舟保育所園児との交流・わらび刈り、親子運動会等。また福祉作業所との交流・フキ採り、凍大根生産等。最後に貝沢小学校との交流・運動会、ソバ切り交流会等。いずれも十数名の参加で楽しい交流を長年継続しております。貝沢小とのソバ作り交流活動

は、今回思いがけなく西和賀農業賞特別賞、岩手県知事賞を受賞しました。単位老人クラブの農業賞は西和賀では始めてなそうですし、知事賞は県内では珍しいそうです。

種蒔き、刈取り、脱穀、ソバ切りと一貫した生産体験が、今の子ども達には欠けており、貴重な体験学習であろうと思えます。三時間余りの休憩なしのソバ刈りに疲れたといつて、休む児童は一人も居ませんでした。最後まで頑張り通した体験学習です。こうした汗して働く勤労の精神、そこからは不登校もいじめも、暴力も生まれてこないでしょう。こうした体験学習が子ども達の健全な育成に少しでも力になればと願っております。年金の切り下げ、医療費の自己負担増等高齢者を取巻く環境は年々厳しさを増しています。私達高齢者は、頭から葉あり、

ちんとお話ができるという確信がつかめて嬉しかった。

「肩をもんであげよう」というと、それぞれ住民の方のところへ飛ぶようにして行つて、肩もみをしていった。

風船遊びは、風船があまり行かないお年寄りを意識して、風船が行くようにする五歳児に対し、自分の手元に風船が欲しく



「どう?おばあちゃん きもちいい?」

病院ありではなく、健康は自力で守り保持していく強い意志と努力が必要です。我が家においても、地域社会にいても信頼され、愛される高齢者でありたいと思

貝沢地区老人クラブ

会長 及川 久蔵様

てしようがない四歳児以下の子どもたち。いずれの子どもたちの姿であつても住民の方は「かわいい」という様子で眺めて下さっていた。

お別れの時は雨が少々降っていて肌寒だったので、子どもたちが「大丈夫?寒くない?早く車に乗つて」と住民の方が車に乗り込むまで心配そうだった。繰り返しの話を好む幼児とその話をゆつくり吸い取るように聞いてくれるお年寄りとは何かしら波長が合うようである。イベント的に交流するのではなく、日常的にさりげなく訪問し合うことが良いのではないかと思つた。

急速に高齢者の介護と子育ての外部化が進んでいる中で真の意味で、共生はどうあれば良いのか色々思いがめぐる。

交流の場でのお年寄りのすべてのことを包み込むような表情と、子どもたちの安心した笑顔が私の心の中にさわやかに残つた。

梅檀保育所

所長 佐藤リキ子様

やすらぎ会に5名の職員が新たに仲間入りしました

新任職員紹介



かたくり調理員
和泉 恵子



特養介護職員
高橋 サメ



特養介護職員
高橋恵梨子



特養看護師
高橋千恵子



ぶなデイ看護師
石川ミミ子

ご指導よろしく申し上げます

ホーム喫茶のご案内

【開 店 日】

7月20日(日)

8月17日(日)

9月21日(日)

【ご利用時間】

13:30～16:30

【場 所】

ぶなの園

地域交流の場

お待ちしております！

編集後記

先日 畑作業へ出かけるデイサービスの利用者の方が、特養のある住民を畑へ誘いました。

「オメも畑さ行って、トマトの苗植ねが」するとこのような返事をしました。「秋になって、やんべおがったら畑さ行くべった」すると誘った本人は、「んだら、秋に取れるんに、植えてくるがらな」と笑顔で苗植にいました。

見習います。そのひろい心。

〈やすらぎ会広報委員〉

丹波直人 高橋 渉 大澤利幸 石川 進
梶本明男 高橋紅子 佐々木菜穂子
丹波りか 田中江美

感謝申し上げます

平成15年3月～平成15年5月

【ご寄付】

- ・阿部 利彦様
- ・大石テツ子様
- ・高橋トミ子様
- ・鎌田 五郎様
- ・藤田キミコ様
- ・深澤 洋子様
- ・岩手県赤十字血液センター様
- ・南川 ハル様
- ・和泉美佐子様
- ・刈田 キヨ様

【ボランティア等】

- ・どれみの会様(洗濯物たたみ他)
- ・高橋 昭士様 (踊り、歌、三味線)
- ・高橋 和子様 (")
- ・大石 睦子様 (住民介助他)
- ・長瀬野婦人会様 (ホーム喫茶)
- ・太田婦人会様 (")
- ・東日本社会福祉専門学校様(住民介助)
- ・深澤 久一様 (畑作業手伝い)
- ・高橋 貞雄様 (ハーモニカ演奏)
- ・野中サダ子様他ボランティアグループの皆様 (踊り披露)
- ・分訳婦人会様 (かたくり窓拭き他)
- ・大野婦人会様 (")

どうもありがとうございます。